

【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年3月4日
【会社名】	西日本旅客鉄道株式会社
【英訳名】	West Japan Railway Company
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長谷川 一明
【本店の所在の場所】	大阪市北区芝田二丁目4番24号
【電話番号】	06-6375-8939
【事務連絡者氏名】	経営戦略本部財務部課長 高橋 貴之
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区芝田二丁目4番24号
【電話番号】	06-6375-8939
【事務連絡者氏名】	経営戦略本部財務部課長 高橋 貴之
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2023年7月6日
【発行登録書の効力発生日】	2023年7月14日
【発行登録書の有効期限】	2025年7月13日
【発行登録番号】	5 - 関東1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 300,000百万円
【発行可能額】	289,500百万円 (289,500百万円) (注)発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額(下段()書きは、発行価額の総額の合計額)に基づき算出した。
【効力停止期間】	この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、2025年3月4日(提出日)である。
【提出理由】	2025年2月25日に提出した訂正発行登録書の「第一部 証券情報」のうち「募集又は売出しに関する特別記載事項」の記載について訂正を必要とするため、本訂正発行登録書を提出する。
【縦覧に供する場所】	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部京滋支社 (京都市南区西九条北ノ内町5番地5) 同 近畿統括本部兵庫支社 (神戸市中央区加納町四丁目4番17号ニッセイ三宮ビル) 同 中国統括本部 (広島市東区上大須賀町15番20号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

訂正箇所は下線を付して表示しております。

第一部【証券情報】

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

< 西日本旅客鉄道株式会社第（未定）回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）に関する情報 >

（訂正前）

（前略）

1. 調達資金の使途

本フレームワークに基づき調達された資金は、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクトに対する新規投資及び既存投資のリファイナンスに充当する予定です。なお、既存投資のリファイナンスの場合は、本フレームワークに基づく調達から2年以内に開始したプロジェクトを対象とします。

グリーン適格クライテリア		
カテゴリー	適格クライテリア	適格プロジェクト（例）
クリーン輸送	<p>下記機能、設備を備えた鉄道車両</p> <p>[在来線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキ時のエネルギーを最大限に回生し、電気エネルギーに換えるエネルギー変換効率に優れたVVVF制御装置や一部車両には更にエネルギー損失の少ない次世代半導体「SiC素子」の駆動システムを採用することにより、エネルギー消費が改善 ・室内灯LED照明の採用、LED式車内表示装置など省エネ型設備を採用することで省エネ化を推進 <p>[新幹線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行抵抗を低減した先頭形状（デュアル スプリームウィング形）の採用や、次世代半導体「SiC素子」の駆動システムの採用により、エネルギー消費が改善 	<p>在来線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・225系近郊形直流電車 ・227系近郊形直流電車 ・273系近郊形直流電車 <p>新幹線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N700S新幹線電車

ソーシャル適格クライテリア		
カテゴリー	適格クライテリア	適格プロジェクト(例)
手ごろな価格の基本的 インフラ設備 社会経済的向上とエン パワーメント	<p>下記機能、設備を備えた鉄道車両</p> <p>[在来線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラの設置による車内セキュリティ向上 ・ 脱線などの異常を検知した際に、自動的に緊急停止・列車防護(近隣の列車を止める)する車両異常挙動検知装置 ・ 万一の衝突の際の客室・乗務員室の衝撃を吸収する構造 ・ とっさの際につかまりやすい形状、色調の吊手・手すり ・ バリアフリートイレ、車椅子スペース、ドア開閉ランプといったバリアフリー設備の充実 <p>[新幹線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ATCとブレーキシステムの改良により地震時のブレーキ距離を短縮 ・ 大容量データ通信の実現により、詳細な機器データの取得・分析が可能となり、車両の状態監視機能が強化 ・ バッテリー自走システムを搭載することで、長時間停電時においてもお客様の避難が容易な場所まで自力走行が可能 ・ 車椅子スペースの増設 	<p>在来線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 225系近郊形直流電車 ・ 227系近郊形直流電車 ・ 273系近郊形直流電車 <p>新幹線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N700S新幹線電車

(後略)

(訂正後)

(前略)

1. 調達資金の使途

本フレームワークに基づき調達された資金は、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクトに対する新規投資及び既存投資のリファイナンスに充当する予定です。なお、既存投資のリファイナンスの場合は、本フレームワークに基づく調達から2年以内に開始したプロジェクトを対象とします。

グリーン適格クライテリア		
カテゴリー	適格クライテリア	適格プロジェクト(例)
クリーン輸送	<p>下記機能、設備を備えた鉄道車両</p> <p>[在来線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブレーキ時のエネルギーを最大限に回生し、電気エネルギーに換えるエネルギー変換効率に優れたVVVF制御装置や一部車両には更にエネルギー損失の少ない次世代半導体「SiC素子」の駆動システムを採用することにより、エネルギー消費が改善 ・ 室内灯LED照明の採用、LED式車内表示装置など省エネ型設備を採用することで省エネ化を推進 <p>[新幹線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行抵抗を低減した先頭形状(デュアル スプリーム ウィング形)の採用や、次世代半導体「SiC素子」の駆動システムの採用により、エネルギー消費が改善 	<p>在来線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 225系近郊形直流電車 ・ 227系近郊形直流電車 ・ 273系特急形直流電車 <p>新幹線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N700S新幹線電車

ソーシャル適格クライテリア		
カテゴリー	適格クライテリア	適格プロジェクト(例)
<p>手ごろな価格の基本的 インフラ設備</p> <p>社会経済的向上とエン パワーメント</p>	<p>下記機能、設備を備えた鉄道車両</p> <p>[在来線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置による車内セキュリティ向上 ・脱線などの異常を検知した際に、自動的に緊急停止・列車防護(近隣の列車を止める)する車両異常挙動検知装置 ・万一の衝突の際の客室・乗務員室の衝撃を吸収する構造 ・とっさの際につかまりやすい形状、色調の吊手・手すり ・バリアフリートイレ、車椅子スペース、ドア開閉ランプといったバリアフリー設備の充実 <p>[新幹線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ATCとブレーキシステムの改良により地震時のブレーキ距離を短縮 ・大容量データ通信の実現により、詳細な機器データの取得・分析が可能となり、車両の状態監視機能が強化 ・バッテリー自走システムを搭載することで、長時間停電時においてもお客様の避難が容易な場所まで自力走行が可能 ・車椅子スペースの増設 	<p>在来線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・225系近郊形直流電車 ・227系近郊形直流電車 ・273系特急形直流電車 <p>新幹線新型車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N700S新幹線電車

(後略)